

2025年度
(令和7年度)

入学者選抜要項

2024.9.25更新

2024年 7 月

東京藝術大学

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

目 次

1. アドミッションポリシー	1%
2. 学部・学科及び入学定員等.	2
% fl %L &S&)	ž
ž 3
% fl &L &S&) 3
(一般選抜)	
3. 出願資格 4
4. 試験日程・出願期間 9
5. 選抜方法 9
..... 9
..... 10
..... 10
..... 12
..... 12
..... 12
& 13
' &S&)	等 (美術学部) 14
(2025年度東京藝術大学入学者選抜の実施教科・科目等 (音楽学部) 23
(特別選抜)	
6. 私費外国人留学生入試 28
7. 帰国生徒選抜 30
) &S&) 30
8. SSP (Special Soloist Program) [飛び入学] 入学者選抜 31
* &S&)	GGD GdYWjU Gc`c] gh Dfc[fUa 32
9. 音楽学部入学者選抜試験における「英語の資格・検定試験の活用」と「外国教育課程出身者特別入試の実施」について 33
+ &S&)	入試 34
10. 障害のある入学志願者の事前相談について 35
11. 個人情報の取扱いについて 36
12. 学部・学科の内容 37
13. 本学のキャンパス 39
14. 学生募集要項 (一般選抜) について 40

本要項は、本学における入学者選抜の基本的事項について記載したものです。
個別学力検査等の実施日時、出願手続き、出願用紙等を含めた「学生募集要項」は別途発表します。
発表時期等については40ページを参照してください。

1. アドミッションポリシー

【美術学部】

美術学部では、ディプロマ・ポリシーに適う人材を選抜するために、大学入学共通テストに加え、個別学力検査を行っています。大学入学共通テストにおいては、入学後に必要とされる知識のレベルを判定し、個別学力検査においては、入学後の専門教育を行う上で必要な能力を審査する実技試験等を実施しています。この個別学力検査では、技能に加え創造性や表現力等を審査しますが、実施にあたっては各科および専攻の特性を最大限に尊重した内容としています。美術学部を志望する受験生には、主体的かつ継続的に技能や表現力を向上させる努力とともに、創造性を高めるための幅広い分野の学習を期待しています。

【音楽学部】

音楽学部は、ディプロマ・ポリシーに掲げた教育目標に適う人材を育成するために、音楽の各分野における表現・創造・研究に対し、本学の伝統を継承しつつ新たな歴史を刻もうという強い意志と意欲を持った方を求めます。演奏系専攻には高い音楽の基礎能力に裏打ちされた、優れた演奏技術と芸術的感性を、創作・研究系専攻には優れた音楽的能力だけでなく、従来の枠を超えた音楽芸術の創造を目指し、研究に対し創造性と批評性を併せ持った人材を期待します。よって選抜試験においては大学入学共通テストの結果に加え、各専攻別に独自の実技試験を行い、多様な評価方法による選抜を行います。

2. 学部・学科及び入学定員等

学部	学科	入学定員(人)	募集人員(人)						備考	
			前期日程	後期日程	私費外国人留学生 ※1	帰国生徒 ※2	SSP	外国教育課程出身者特別入試 ※3		
美術学部	絵画科	日本画専攻	25	25	—	若干名	—	—	—	※1 私費外国人留学生の募集定員は若干名で前期日程の募集定員の中に含む。 ※2 帰国生徒の募集人員は若干名で前期日程の募集人員の中に含む。 ※3 外国教育課程出身者特別入試の募集人員は若干名で前期日程の募集人員の中に含む。
		油画専攻	55	55	—	若干名	若干名	—	—	
	彫刻科	20	20	—	若干名	—	—	—		
	工芸科	30	30	—	若干名	若干名	—	—		
	デザイン科	45	45	—	若干名	若干名	—	—		
	建築科	15	15	—	若干名	若干名	—	—		
	先端芸術表現科	24	24	—	若干名	若干名	—	—		
	芸術学科	20	20	—	若干名	—	—	—		
	小計	234	234	—	若干名	—	—	—		
音楽学部	作曲科	15	15	—	若干名	—	—	若干名		
	声楽科	54	54	—	若干名	—	—	若干名		
	器楽科	98	98	—	若干名	—	若干名 ※ピアノ・弦楽・管楽器のみ	若干名		
	指揮科	2	2	—	若干名	—	—	若干名		
	邦楽科	25	25	—	若干名	—	—	若干名		
	楽理科	23	23	—	若干名	—	—	若干名		
	音楽環境創造科	20	20	—	若干名	—	—	若干名		
		小計	237	237	—	若干名	—	—	若干名	
合計		471	471	—	若干名	—	—	—		

(注) 本学においては、2段階選抜、学校推薦型選抜、専門学科・総合学科卒業生入試、社会人入試、総合型選抜及び欠員補充第2次募集は行わない。

(注) 取手校地では、美術学部先端芸術表現科の2年次以降及び、工芸科素材造形分野に対して授業を行う。

千住校地では、音楽学部音楽環境創造科が卒業時まで授業を行う。

その他はすべて上野校地で授業を行う。

上記の他に、下記の東京藝術大学音楽学部SSP (Special Soloist Program) [飛び入学] 入学者選抜の募集があります。

東京藝術大学音楽学部SSP入学者選抜

学部	学科等	募集人員	備考
音楽学部	器楽科ピアノ専攻	若干名	募集人員(若干名)は前期日程の募集人員に含む。
	器楽科弦楽専攻 ヴァイオリン	若干名	
	器楽科弦楽専攻 チェロ	若干名	
	器楽科管打楽専攻 フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、テナー・トロンボーン、バス・トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ ※打楽器は含まない。	若干名	

[表1] (その1)

2025年度東京藝術大学入学者選抜方法等

(一般選抜, 専門学科・総合学科卒業生入試, 総合型選抜)

選抜方法等		個別学力検査等					専門学科・総合学科卒業生入試				総合型選抜	個別学力検査等の日程	備考 (欠員の補充の方法等)		
		個別学力検査を課する	実技検査等			2段階選抜		個別学力検査を課する	実技検査等					募集人員	
			実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるニテを課する	主として、調査書の内容と大学入学共通テストの成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要となる検査等を行う		第1段階の選抜による合格者数	その他					面接を行う
学部・学科等名															
美術学部	絵画科	日本画	×	○	×	×	×	本学は実施しない	本学は実施しない	本学では実施しない	13頁に記載				
		油画	×	○	○	×	×								
	彫刻科	×	○	×	×	×									
	工芸科	×	○	×	×	×									
	デザイン科	×	○	×	×	×									
	建築科	×	○	×	×	×									
	※1 先端芸術表現科	×	※2 ○	×	※3 ○	×									
芸術学科	○	※4 ○	×	※5 ○	×										
音楽学部	作曲科	×	○	○	×	×									
	声楽科	×	○	×	×	×									
	器楽科	×	○	×	×	×									
	指揮科	×	○	×	×	×									
	邦楽科	×	○	○	×	×									
	楽理科	○	○	×	※6 ○	×									
※7 音楽環境創造科	○	×	※8 ○	○	×										

備考 ○印は、本学の学部・学科（専攻）により個別学力検査、実技検査等を課するものを示す。

※1 美術学部先端芸術表現科の受験者は、予め個人資料ファイルを提出する。【12頁（6）その他参照】

※2・3 美術学部先端芸術表現科の第1次試験における実技検査又は小論文は、出願時に志願者がいずれかを選択する。

※4・5 美術学部芸術学科の小論文又は実技検査は、出願時に志願者がいずれかを選択する。

※6 音楽学部楽理科の小論文については、口述試験を含む。

※7 音楽学部音楽環境創造科の志願者は、志望理由書（800字以内。所定の用紙に手書きで記入のこと）を出願時に提出すること。

※8 音楽学部音楽環境創造科の面接については、表現を含む。

[表1] (その2)

2025年度東京藝術大学入学者選抜方法等（特別選抜）

選抜方法等		学校推薦型選抜			帰国生徒・社会人等のための特別入試					備考
		入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する。	個別学力検査を免除し、大学入学共通テストを課する	実技試験等	大学入学共通テストを免除する					
学部・学科等名					私費外国人留学生	帰国生徒	SSP	外国教育課程出身者	社会人	
美術学部	絵画科	日本画専攻			○	×	×	×		本学は実施しない
		油画専攻			○	○	×	×		
	彫刻科				○	×	×	×		
	工芸科				○	○	×	×		
	デザイン科				○	○	×	×		
	建築科				○	○	×	×		
	先端芸術表現科				○	○	×	×		
音楽学部	作曲科				○	×	×	×		
	声楽科				○	×	×	○		
	器楽科				○	×	○	○		
	指揮科				○	×	×	○		
	邦楽科				○	×	×	○		
	楽理科				○	×	×	○		
	※7 音楽環境創造科				○	×	×	○		

(一般選抜)

3. 出願資格

次のいずれかに該当する者で、本学の学部・学科で定める 2025 年度（令和 7 年度）大学入学共通テストのすべてを受験した者とする。（共通テストの受験科目は〔表3〕14頁，〔表4〕23頁参照）

(1)	高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び 2025 年 3 月卒業見込みの者（注 1）		
(2)	通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者，又は通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者及び 2025 年 3 月修了見込みの者（注 2）		
(3)	学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち次の各項目の一に該当する者及び 2025 年 3 月 31 日までに、これに該当する見込みの者		
	外国の学校等 （注 3-1～3-4）	ア 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び 2025 年 3 月 31 日までに修了見込みの者，又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者	
	在外教育施設 （注 4）	イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び 2025 年 3 月 31 日までに修了見込みの者	
	専門学校等 （注 5）	ウ 専修学校の高等課程（修学年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び 2025 年 3 月 31 日までに修了見込みの者	
	文部科学大臣 の指定した者 （注 6-1～6-3）	エ	旧制学校等を修了した者（注 6-1）
			外国の大学入学資格である国際バカロレア，アビトゥア，バカロレア，GCEA レベル，国際Aレベル，欧州バカロレアを保有する者（注 6-2）
			国際的な評価団体（WASC, CIS, ACSI, NEASC, Cognia）の認定を受けた教育施設（国際的な評価団体認定外国人学校について）の 12 年の課程を修了した者（注 6-3）
	高卒認定等 （注 7）	オ	高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び 2025 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で，2025 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者
	飛び入学者 （注 8-1～8-2）	カ	「飛び入学」した者であって，高等学校卒業程度認定審査に合格した者で，2025 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者（注 8-1）
「飛び入学」した者であって，その後に入学者となる大学において，大学教育を受ける学力があると認められた者（注 8-2）			
個別審査 （注 9）	キ	本学において，個別の入学資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で，2025 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの	

(注 1)

学校教育法第 90 条第 1 項で指定された者が該当します。

(注 2)

特別支援学校の高等部又は高等専門学校 3 年次を修了した者及び 2025 年 3 月修了見込みの者で、学校教育法第 90 条第 1 項で指定された者が該当します。

(注 3-1)

- ・ 12 年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣が指定した準備教育課程(※1)又は研修施設の課程(※2)を修了する必要があります。(学校教育法施行規則第 150 条第 1 号, 昭和 56 年文部省告示第 153 号第 2 号)

(※1) 文部科学大臣指定教育課程一覧

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/001.htm

(※2) 文部科学大臣指定研修施設課程一覧

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/002.htm

- ・「外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者」とは、「外国の正規の学校教育における 12 年目の課程を修了した者」という意味です。修了した課程が正規の学校教育であるか、何年目の課程であるかはそれぞれの国の大使館等にお問い合わせください。

(注 3-2)

- ・ 外国における、12 年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者で、2025 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者が該当します。(12 年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣が指定した準備教育課程(※1)又は研修施設の課程(※2)を修了する必要があります。)(昭和 56 年文部省告示第 153 号第 1 号, 第 2 号)
- ・ 合格した学力認定試験は、当該国の検定(国が検定に準ずるものを含む。)であり、大韓民国の「高等学校卒業学力検定考査」、アメリカ合衆国の「GED test」等がこれに該当します。12 年の課程修了相当の学力認定試験であるかどうかはそれぞれの国の大使館等にお問い合わせください。

(注 3-3)

ウクライナのポウナ・ザハリナ・セレドニャ・オスヴィタの課程など、外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者(その修了者が当該外国の正規の学校教育における 11 年以上の課程を修了したとされるものであること、その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り、)で、文部科学大臣が別に指定する教育機関(※3)を修了した者又は 2025 年 3 月 31 日までに修了見込みの者が該当します。(昭和 56 年文部省告示第 153 号第 3 号)

(※3) 文部科学大臣指定高等学校に対応する外国の学校の課程一覧

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/1380756.htm

(注 3-4)

東京韓国学校中・高等部など、文部科学大臣が、我が国において、外国の高等学校相当として指定した外国人学校を修了した者(※4)(12 年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣が指

定した準備教育課程(※1)又は研修施設の課程(※2)を修了する必要があります。)が該当します。(昭和56年文部省告示第153号第4号,第5号)

(※4) 文部科学大臣が高等学校相当として指定した外国人学校一覧

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/003.htm

(注 4)

立教英国学院, 帝京ロンドン学園, 慶應義塾ニューヨーク学院等, 文部科学大臣が高等学校と同等と認定した在外教育施設の課程(※5)を修了した者が該当します。(学校教育法施行規則第150条第2号)

(※5) 文部科学大臣認定等在外教育施設(高等部を設置するもの)一覧

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/004.htm

(注 5)

専門学校国際スクールオブビジネスなど, 文部科学大臣が指定した専修学校の高等課程(※6)を修了した者が該当します。(学校教育法施行規則第150条第3号)

(※6) 文部科学大臣指定専修学校高等課程一覧

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/1234679.htm

(注 6-1)

海技教育機構(旧海員学校)の本科を卒業した者又は2025年3月卒業見込みの者, その他, 旧制の諸学校の出身者や, 小中高等学校の教諭の普通免許状を有する者など, 昭和23年文部省告示第47号第1号~第19の2号で指定された者です。

(注 6-2)

- ・ スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格
- ・ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格
- ・ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格
- ・ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(GCE-Aレベル)又は, インターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(国際Aレベル)(いずれも3科目以上でE以上の評価を取得していること)
- ・ 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格(欧州バカロレア)

のいずれかを取得した者及び2025年3月31日までに取得見込みの者で, 2025年3月31日までに18歳に達する者が該当します。(昭和23年文部省告示第47号第20号~第23号)

(注 6-3)

文部科学大臣が指定する, 国際的な評価団体(WASC, CIS, ACSI, NEASC, Cognia)(※7)の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者, 又は2025年3月31日までに修了見込みの者が該当します。(昭和23年文部省告示第47号第24号)

※CISの旧名称であるECISの認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了したものについても入学資格が認められます。

(※7) 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/006.htm

(注 7)

- ・高等学校卒業認定試験に合格見込みの者とは、科目合格者のうち、合格に必要な残りの試験科目に相当する科目の単位を、在籍している高等学校、高等専門学校、海外において高等学校の課程と同等の課程を有するものとして、文部科学大臣が認定した在外教育施設又は、文部科学大臣の指定により大学入学資格が付与されている専修学校高等課程で、2025年3月31日までに取得見込みの者がこれに該当します。
- ・18歳に達していないときは、18歳に達した日の翌日から認定試験合格者となります。

(注 8-1)

いわゆる『飛び入学』で、本学以外の大学に入学した者（学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者）であって、高等学校卒業程度認定審査に合格した者が該当します。（施行規則第150条第5の2号）合格証書のコピーまたは合格証明書（原本）をご用意ください。

(注 8-2)

いわゆる『飛び入学』で本学以外の大学に入学した者（学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者）であって、本学において、大学教育を受ける学力があると認められる者を指します。（学校教育法施行規則第150条第6号）

出願を希望する場合には、出願前に出願資格の有無を確認する必要がありますので、

2024年8月9日（金）までに以下照会先までご連絡ください。

※出願資格（3）カ及びキの対象者は、本学以外の大学等に『飛び入学』をしている者を指しません。

（照会先）

東京藝術大学 学生課 入学試験係

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

Tel 050-5525-2075

Fax 03-5685-7763

E-mail: nyuusi-k@ml.geidai.ac.jp

(注 9)

上記キに該当する者とは、上記（1）、（2）及び（3）ア～カに該当しない相当の理由がある者のうち、次のいずれかに該当し、本学への入学意思があり、入学しようとする年度の開始までに18歳に達する者であること、さらに申請者から提出された申請書類に基づき、本学の個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めたものとしません。

①外国人を対象に教育を行うことを目的として我が国に設置された教育施設において高等学校に対応する3年に相当する学歴を有する又は有する見込みのある者

②専修学校や各種学校等における学習歴及び社会での実務経験や資格等により高等学校卒業と同等以上であることを客観的に確認できる者

（注）卒業見込みがある高等学校在籍中の者は対象としない。

個別の入学資格審査は、次のような学修歴や実績の情報等に基づいて、高等学校卒業者や大学卒業者と同等以上の学力があるかどうかを本学が判断する審査です。

- ・専修学校、各種学校等の、高等学校の教育課程に相当する学修歴3年以上の履修状況
 - イ)高等学校相当の学習歴3年以上の履修状況を証明する調査書等の資料
 - ロ)出身校の教育内容（学習指導要領又は教科書の内容（項目）等）を証明する書類
 - ハ)出身校の学則（又はそれに代わるもの）
 - ・社会における実務経験や取得した資格等を証明する書類
 - ・大学の科目等履修生として修得した一定の単位を証明する書類
 - ・その他、旧制諸学校で修了した課程の内容を証明する書類
- ※本学が必要と認めた場合には、面接を行うことがあります。

上記キで出願しようとする者は出願前に個別の入学資格審査を行うので、事前に以下照会先まで申し出て（提出締切期限の1ヶ月以上前が望ましい。）相談のうえ申請様式を受け取り、本学が指定した書類等を下記の提出締切期限までに提出すること。

(申請書提出締切期限)

①大学入学共通テストに出願する以前から本学に出願することを希望する場合：

2024年8月23日（金）まで

※2024年7月26日（金）までに以下照会先までご連絡ください。

②大学入学共通テストに出願後、志望大学を変更して本学に出願することを希望する場合：

2024年12月13日（金）まで

※2024年11月15日（金）までに以下照会先までご連絡ください。

(照会先)

東京藝術大学 学生課 入学試験係

〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8

Tel 050-5525-2075

Fax 03-5685-7763

E-mail: nyuusi-k@ml.geidai.ac.jp

4. 試験日程・出願期間

本学の個別試験は、美術学部・音楽学部共に分離分割方式の前期日程により実施する。

本学（前期日程）に出願する者は、「前期日程」の他の国公立大学・学部に出願できない。

他の国公立大学・学部の学校推薦型選抜合格者は、当該選抜入試を実施した大学・学部の定める手続により辞退を許可された場合を除いて、本学の入学試験を受験しても合格者とはならないので注意すること。

他の国公立大学・学部の総合型選抜に合格し、入学手続を完了した者は、当該選抜入試を実施した大学・学部の定める手続により入学を辞退した場合を除いて、本学の入学試験を受験しても合格者とはならないので注意すること。

また、国公立大学・学部の「前期日程」試験に合格し、2025年3月15日（土）までに入学手続を行った者は、「後期日程」の試験を受験しても、その合格者とはならないので注意すること。

(1) 個別試験の検査項目等

個別試験の検査項目等については、〔表1〕（その1）2025年東京藝術大学入学者選抜方法等（一般選抜, 専門学科・総合学科卒業生入試, 総合型選抜）（3頁）及び〔表2〕個別学力検査等の日程（13頁）により実施する。

(2) 個別試験の出願期間

個別試験の出願期間は、2025年1月27日（月）から2月5日（水）までとする。

※音楽学部SSP入試を除くすべての学部入試はインターネットにより出願を受け付ける。

※インターネット出願の上、上記期間内の消印で郵送された願書に限り受け付ける。

(3) 最終合格者の発表

美術学部 2025年3月14日（金）、音楽学部 2025年3月13日（木）

5. 選抜方法

入学者の選抜は、大学入学共通テスト及び本学が実施する個別学力検査、実技検査、小論文、面接並びに出身学校長から提出された調査書の各資料を総合して判定する。

本学の個別試験は、数次に分けて選抜を行い、それぞれ合格者を発表する。合格しない者は、次の試験は受験できない。【〔表2〕13頁参照】なお、判定の基準等は募集要項に記載する。

(1) 大学入学共通テスト

受験を要する教科・科目は、〔表3〕2025年度東京藝術大学入学者選抜の実施教科・科目等について（美術学部）（14頁）、〔表4〕2025年度東京藝術大学入学者選抜の実施教科・科目等について（音楽学部）（23頁）により実施する。

各学部学科（専攻）が定める大学入学共通テストの教科・科目のすべてを受験すること。指定したとおりに受験していない者は、無資格者（失格）扱いとなる。なお、その場合には納入した検定料の一部が申請により返還される。

また、本学においては英語のリスニングテストを課している。外国語の『英語』を選択受験した場合は、必ずリスニングテストも受験すること。受験しなかった場合も同様に、無資格者（失格）扱いとなる。

※本学では、大学入学共通テストの過年度成績は、利用しない。

(2) 個別学力検査

美術学部

学 科	教 科	科 目
芸 術 学 科	地 理 歴 史	世界史探究，日本史探究から1科目を選択
	外 国 語	英語（英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ），ドイツ語，フランス語から1科目を選択

（絵画科，彫刻科，工芸科，デザイン科，建築科及び先端芸術表現科は課さない。）

音楽学部

学 科	教 科	科 目
楽 理 科	国 語	国語（現代の国語・言語文化・古典探究）
	外 国 語	英語（英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ），ドイツ語，フランス語から1科目を選択
音 楽 環 境 創 造 科	音 楽	音楽（音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）※ 高等学校で使用されている音楽の教科書「音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」程度を出題範囲とする。

（作曲科，声楽科，器楽科，指揮科及び邦楽科は課さない。）

(3) 実技検査（音楽学部「試験課題曲・試験内容」の発表日予告を含む。）

美術学部

学 科	検 査 科 目	
絵 画 科	日 本 画 専 攻	鉛筆素描，着彩写生
	油 画 専 攻	素描，絵画
彫 刻 科	素描，彫刻	
工 芸 科	鉛筆写生，平面表現，立体表現	
デ ザ イ ン 科	鉛筆写生（※1），デザインⅠ（色彩），デザインⅡ（形体）	
建 築 科	空間構成，総合表現	
先 端 芸 術 表 現 科	素描（※2），総合実技	
芸 術 学 科	鉛筆素描（石膏像）（※3）	

※1デザイン科の第1次試験「鉛筆写生」は，石膏像デッサン又は構成デッサンのいずれかを出願時に，志願者が選択する。

※2先端芸術表現科は，実技検査（素描）又は小論文のいずれかを出願時に，志願者が選択する。

※3芸術学科は，小論文又は実技検査（鉛筆素描）のいずれかを出願時に，志願者が選択する。

音楽学部

学 科	検 査 科 目
作 曲 科	専攻実技, 聴音書き取り, 楽典, 新曲視唱, リズム課題, 副科ピアノ, ピアノ新曲
声 楽 科	専攻実技 (新曲視唱・リズム課題・コールユーブンゲンを含む), 聴音書き取り, 楽典, 副科ピアノ
器 楽 科 (ピアノ)	専攻実技, 聴音書き取り, 楽典, 新曲視唱, リズム課題
器 楽 科 (オルガン, 弦楽, 管打楽)	専攻実技, 聴音書き取り, 楽典, 新曲視唱, リズム課題, 副科ピアノ
器 楽 科 [古楽 (バロックヴァイオリン, リコーダー, チェンバロ)]	専攻実技, 聴音書き取り, 楽典, 新曲視唱, リズム課題
指 揮 科	専攻実技, 楽典, 副科ピアノ, 和声
邦 楽 科	専攻実技, 楽典
楽 理 科	聴音書き取り, 楽典, 新曲視唱, リズム課題, 副科実技(※1), 和声
音 楽 環 境 創 造 科	実技検査を課さない。

※1楽理科の副科実技は、ピアノ、オルガン、弦楽器、管打楽器、チェンバロ、邦楽器のいずれかで受験する。なお、ピアノ以外の副科実技（楽理科のみ）の試験曲は、ヴァイオリン及び邦楽器の場合を除き自由曲である（ヴァイオリン及び邦楽器については、課題曲を定める）。

●音楽学部「試験課題曲・試験内容」の発表について

試験課題曲・試験内容は、以下の日時に本学ホームページ (<https://admissions.geidai.ac.jp/undergraduate/music/application/>) に掲載する。

発 表 内 容	発 表 日 時
声楽科の専攻実技課題曲	2024年 9月 13日 (金) 午後4時以降
声楽科以外の科の専攻実技課題曲	2024年 10月 1日 (火) 午後4時以降
楽理科, 音楽環境創造科の試験内容	
「聴音書き取り・楽典・新曲視唱・リズム課題・ピアノ新曲・和声」試験内容	
副科ピアノ課題曲	
楽理科のピアノ以外の副科実技課題曲	

(4)小論文

- ・美術学部先端芸術表現科及び芸術学科は、出願時に小論文を選択した者に課する。
- ・音楽学部楽理科は、小論文（口述試問を含む。）、音楽環境創造科は、小論文を課する。

(5)面接

美術学部絵画科油画専攻、音楽学部作曲科、邦楽科及び音楽環境創造科は、面接を行う。

※音楽学部音楽環境創造科の面接は、表現を含む。

(6)その他

- ・美術学部先端芸術表現科の受験者は、予め個人資料ファイル（受験者の活動内容をまとめたもの）を提出しなければならない。

[個人資料ファイル提出期間は、2025年2月中旬を予定。詳細は、11月末発行予定の美術学部学生募集要項を必ず確認すること。]

- ・音楽学部音楽環境創造科の志願者は、志望理由書（800字以内。所定の用紙に手書きで記入のこと）を出願時に提出しなければならない。

〔表2〕

個別学力検査等の日程

学部・学科等名		選抜方法等	個別学力検査等の日程
美術学	絵画科	日本画	1次(実技)3月2日,3日 2次(実技)3月6日,7日
		油画	1次(実技)2月25日 2次(実技,面接)3月7日,8日,9日
	彫刻科	1次(実技)3月5日 2次(実技)3月9日	
	工芸科	1次(実技)3月3日 2次(実技)3月6日,7日	
	デザイン科 ※1	1次(実技)石膏像デッサン2月28日 1次(実技)構成デッサン3月1日 2次(実技)3月9日,10日	
	建築科	(実技)3月7日※一次合格者選抜は行わない (実技)3月8日	
	先端芸術表現科 ※2	1次(実技)2月25日又は(小論文)2月26日 2次(実技)3月4日,5日	
音楽学	芸術学科 ※3		(学力)2月26日※一次合格者選抜は行わない (小論文)又は(実技)2月27日
	作曲科		1次(実技)2月25日/2次(実技)2月28日 3次(実技)エクリチュール専攻3月3日,作曲専攻3月4日 4次(実技,面接)3月8日
	声学科		1次(実技)2月25日,26日,27日 /2次(実技)3月2日,3日 3次(実技)3月6日,8日
	器楽科	ピアノ	1次(実技)2月25日,26日,27日 /2次(実技)3月3日,4日,5日 3次(実技)3月8日
		オルガン	(試奏日2月26日) 1次(実技)2月27日 2次(実技)3月5日 3次(実技)3月8日
		弦楽	1次(実技)2月25日,26日,27日 /2次(実技)3月4日,5日 3次(実技)3月8日
		管打楽	1次(実技)2月25日,26日,27日 2次(実技)3月3日,4日,5日 /3次(実技)3月8日
		古楽	1次(実技)3月5日/2次(実技)3月8日
	指揮科		1次(実技)2月26日/2次(実技)3月4日 3次(実技)3月6日,8日
	邦楽科		1次(実技)2月25日,27日/2次(実技,面接)3月3日,4日,5日 3次〔実技(楽典のみ)〕3月8日
※4	楽理科		1次(学力)2月26日 2次〔実技,小論文(含,口述試問)〕3月3日,4日,5日,6日,8日,9日 ※3月3日,4日,5日については,副科実技をピアノ以外の楽器で受験する者を対象とする。
	音楽環境創造科		1次(学力)2月25日 2次(小論文)2月28日 〔面接(含,表現)〕3月3日,4日,5日,6日

※1美術学部デザイン科1次は,石膏像デッサン又は構成デッサンのいずれかを出願時に志願者が選択すること。

※2美術学部先端芸術表現科1次は,実技検査又は小論文のいずれかを出願時に志願者が選択すること。

※3美術学部芸術学科は,小論文又は実技検査のいずれかを出願時に志願者が選択すること。

※4音楽学部声学科1次・2次,音楽学部器楽科(ピアノ)1次・2次,音楽学部音楽環境創造科2次(面接)は志願者ごとに日程が異なる。

音楽学部器楽科(弦楽・管打楽)1次・2次,音楽学部邦楽科1次・2次,音楽学部楽理科2次(副科実技)は専攻楽器等の種類により日程が異なる。
ただし,同一専攻楽器でも志願者ごとに日程が異なることがある。

〔表 3〕

2025 年度東京藝術大学入学者選抜の実施教科・科目等について【美術学部】

●美術学部倍率（2024 年度入学者選抜実績）

12.6 倍

●学力検査等の区分・日程

前期日程のみ（〔表 2〕 13 頁 日程のとおり）

●2 段階選抜はありません。

●旧教育課程履修者が選択できる科目

旧教育課程履修者（高等学校（中等教育学校の後期課程並びに特別支援学校の高等部を含む。）に令和 4 年 4 月に入学し、令和 7 年 3 月に卒業見込みの者以外の者）に対する令和 7 年度（2025 年度）大学入学共通テストに関する経過措置を以下のとおりとします。

旧教育課程履修者は、旧教育課程による出題科目（青字で示した旧教育課程経過措置科目）を選択することができます。

新教育課程履修者が、旧教育課程による出題科目を選択解答することはできません。

●個別学力検査等の出題教科・科目等

令和 7 年度（2025 年度）の芸術学科における個別学力検査等で出願する教科・科目は、原則として新教育課程の科目と旧教育課程の科目の共通範囲から出題する等、旧教育課程履修者に不利にならないように配慮します。

●大学入学共通テストの配点

各科の必要教科・科目数については、次ページ以降に示した表のとおりです。

（単位：点）

		国語	地理歴史	公民	数学	理科	情報	外国語	合計
絵画科	日本画専攻	200	200 ※ 1					200	600
	油画専攻	200	200 ※ 1					200	600
彫刻科		200	200 ※ 1					200	600
工芸科		200	200 ※ 1					200	600
デザイン科		200	200 ※ 1				100	200	700
建築科		200	100	—	200	100	—	200	800
先端芸術表現科		200	200 ※ 1					200	600
芸術学科		各 200 ※ 1 ※ 2						200	600

※ 1 選択教科の配点を示す。

※ 2 芸術学科は公民を除く、国語、地理歴史、数学、理科、情報のうち選択教科の配点を示す。

美術学部 絵画科 日本画専攻 (定員 25名)

	教科	科目	配点等	
大学入学共通テスト (3教科3科目)	国語(必)	『国語』	<p>○教科名の(必)は必須、(選)は選択教科・科目。</p> <p>○志願者は、必須教科・科目の他に選択科目・教科から1科目選択し、合計3教科3科目を受験すること。</p> <p>○指定した選択教科・科目数を超過して受験した場合は、いずれか得点の高い1教科1科目を評価する。</p> <p>ただし、地理歴史及び公民並びに理科において、2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を評価の対象とする。</p> <p>○地理歴史、公民、数学、理科、情報の得点は、国語、外国語と同一の200点満点として換算し、合計600点とする。</p> <p>(※1) 外国語のうち、『英語』を選択した場合は、リーディングの他にリスニングを課し、それを合わせて『英語』の評価とする。</p> <p>なお、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計点数を、160点:40点に換算したものを『英語』の評価とする。</p> <p>(※2) 『地理総合/歴史総合/公共』は、「地理総合」「歴史総合」「公共」いずれか、必ず2つの出題範囲を選択して解答する。</p> <p>(※3) 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は、「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」いずれか必ず2つの出題範囲を選択して解答する。令和7年度共通テストから「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」は、『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』として1出題科目として扱う。「物理基礎」などは1出題科目の中の1出題範囲として扱う。</p>	
	外国語(必)	『英語(リスニングを含む)』(※1) 『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』		から1科目選択
	地理歴史(選) 公民(選)	『地理総合,地理探究』『歴史総合,日本史探究』『歴史総合,世界史探究』 『地理総合/歴史総合/公共』(※2) 『公共,倫理』『公共,政治・経済』		から1科目選択
	数学(選)	『数学Ⅰ,数学A』『数学Ⅰ』 『数学Ⅱ,数学B,数学C』		から1科目選択
	理科(選)	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』(※3) 『物理』『化学』『生物』『地学』		から1科目選択
情報(選)	『情報Ⅰ』 旧教育課程履修者は、新教育課程による出題科目と、旧教育課程による出題科目を組み合わせた以下の2科目から1科目選択すること。 『情報Ⅰ』『旧情報』			
個別学力検査等	その他	実技検査 (鉛筆素描)〔着彩写生〕	<p>○1次:個別学力検査等の成績により合否を判定する。</p> <p>○2次:2次個別学力検査等までの成績に、大学入学共通テストの成績と出願書類(調査書等)の審査を加え、総合的に判定し、合否を決定する。</p>	

【その他の選抜方法】私費外国人留学生入試・追加合格

美術学部 絵画科 油画専攻 (定員 55名)

	教科	科目	配点等	
大学入学共通テスト (3教科3科目)	国語(必)	『国語』	<p>○教科名の(必)は必須,(選)は選択教科・科目。</p> <p>○志願者は,必須教科・科目の他に,選択科目・教科から1科目選択し,合計3教科3科目を受験すること。</p> <p>○指定した選択教科・科目数を超過して受験した場合は,いずれか得点の高い1教科1科目を評価する。</p> <p>ただし,地理歴史及び公民並びに理科において,2科目受験した場合は,第1解答科目の成績を評価の対象とする。</p> <p>○地理歴史,公民,数学,理科,情報の得点は,国語,外国語と同一の200点満点として換算し,合計600点とする。</p> <p>(※1)外国語のうち,『英語』を選択した場合は,リーディングの他にリスニングを課し,それを合わせて『英語』の評価とする。</p> <p>なお,リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計点数を,160点:40点に換算したものを『英語』の評価とする。</p> <p>(※2)『地理総合/歴史総合/公共』は,「地理総合」「歴史総合」「公共」いずれか,必ず2つの出題範囲を選択して解答する。</p> <p>(※3)『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は,「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」いずれか必ず2つの出題範囲を選択して解答する。令和7年度共通テストから「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」は,『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』として1出題科目として扱う。「物理基礎」などは1出題科目の中の1出題範囲として扱う。</p>	
	外国語(必)	『英語(リスニングを含む)』(※1) 『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』		から1科目選択
	地理歴史(選) 公民(選)	『地理総合,地理探究』『歴史総合,日本史探究』『歴史総合,世界史探究』 『地理総合/歴史総合/公共』(※2) 『公共,倫理』『公共,政治・経済』		から1科目選択
	数学(選)	『数学Ⅰ,数学A』『数学Ⅰ』 『数学Ⅱ,数学B,数学C』		から1科目選択
	理科(選)	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』(※3) 『物理』『化学』『生物』『地学』		から1科目選択
情報(選)	『情報Ⅰ』 旧教育課程履修者は,新教育課程による出題科目と,旧教育課程による出題科目を組み合わせた以下の2科目から1科目選択すること。 『情報Ⅰ』『旧情報』			
個別学力検査等	その他	実技検査〔素描〕〔絵画〕 面接	<p>○1次:個別学力検査等の成績に,大学入学共通テストの成績と出願書類(調査書等)の審査を加え,総合的に判定し,合否を決定する。</p> <p>○2次:2次個別学力検査等までの成績に,大学入学共通テストの成績と出願書類(調査書等)の審査を加え,総合的に判定し,合否を決定する。</p>	

【その他の選抜方法】 帰国生徒選抜・私費外国人留学生入試・追加合格

美術学部 彫刻科 (定員 20名)

	教科	科目	配点等	
大学入学共通テスト (3教科3科目)	国語(必)	『国語』	<p>○教科名の(必)は必須,(選)は選択教科・科目。</p> <p>○志願者は,必須教科・科目の他に,選択科目・教科から1科目選択し,合計3教科3科目を受験すること。</p> <p>○指定した選択教科・科目数を超過して受験した場合は,いずれか得点の高い1教科1科目を評価する。</p> <p>ただし,地理歴史及び公民並びに理科において,2科目受験した場合は,第1解答科目の成績を評価の対象とする。</p> <p>○地理歴史,公民,数学,理科,情報の得点は,国語,外国語と同一の200点満点として換算し,合計600点とする。</p> <p>(※1)外国語のうち,『英語』を選択した場合は,リーディングの他にリスニングを課し,それを含めて『英語』の評価とする。</p> <p>なお,リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計点数を,160点:40点に換算したものを『英語』の評価とする。</p> <p>(※2)『地理総合/歴史総合/公共』は,「地理総合」「歴史総合」「公共」いずれか,必ず2つの出題範囲を選択して解答する。</p> <p>(※3)『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は,「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」いずれか必ず2つの出題範囲を選択して解答する。令和7年度共通テストから「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」は,『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』として1出題科目として扱う。「物理基礎」などは1出題科目の中の1出題範囲として扱う。</p>	
	外国語(必)	『英語(リスニングを含む)』(※1) 『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』		から1科目選択
	地理歴史(選) 公民(選)	『地理総合,地理探究』『歴史総合,日本史探究』『歴史総合,世界史探究』 『地理総合/歴史総合/公共』(※2) 『公共,倫理』『公共,政治・経済』		から1科目選択
	数学(選)	『数学Ⅰ,数学A』『数学Ⅰ』 『数学Ⅱ,数学B,数学C』		から1科目選択
	理科(選)	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』(※3) 『物理』『化学』『生物』『地学』		から1科目選択
情報(選)	『情報Ⅰ』 旧教育課程履修者は,新教育課程による出題科目と,旧教育課程による出題科目を組み合わせた以下の2科目から1科目選択すること。 『情報Ⅰ』『旧情報』			
個別学力検査等	その他	実技検査〔素描〕〔彫刻〕	<p>○1次:個別学力検査等の成績により合否を判定する。</p> <p>○2次:2次個別学力検査等までの成績に,大学入学共通テストの成績と出願書類(調査書等)の審査を加え,総合的に判定し,合否を決定する。</p>	

【その他の選抜方法】私費外国人留学生入試・追加合格

美術学部 工芸科 (定員 30名)

	教科	科目	配点等	
大学入学共通テスト (3教科3科目)	国語(必)	『国語』	<p>○教科名の(必)は必須,(選)は選択教科・科目。</p> <p>○志願者は,必須教科・科目の他に,選択科目・教科から1科目選択し,合計3教科3科目を受験すること。</p> <p>○指定した選択教科・科目数を超過して受験した場合は,いずれか得点の高い1教科1科目を評価する。</p> <p>ただし,地理歴史及び公民並びに理科において,2科目受験した場合は,第1解答科目の成績を評価の対象とする。</p> <p>○地理歴史,公民,数学,理科,情報の得点は,国語,外国語と同一の200点満点として換算し,合計600点とする。</p> <p>(※1)外国語のうち,『英語』を選択した場合は,リーディングの他にリスニングを課し,それを合せて『英語』の評価とする。</p> <p>なお,リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計点数を,160点:40点に換算したものを『英語』の評価とする。</p> <p>(※2)『地理総合/歴史総合/公共』は,「地理総合」「歴史総合」「公共」いずれか,必ず2つの出題範囲を選択して解答する。</p> <p>(※3)『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は,「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」いずれか必ず2つの出題範囲を選択して解答する。令和7年度共通テストから「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」は,『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』として1出題科目として扱う。「物理基礎」などは1出題科目の中の1出題範囲として扱う。</p>	
	外国語(必)	『英語(リスニングを含む)』(※1) 『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』		から1科目選択
	地理歴史(選) 公民(選)	『地理総合,地理探究』『歴史総合,日本史探究』『歴史総合,世界史探究』 『地理総合/歴史総合/公共』(※2) 『公共,倫理』『公共,政治・経済』		から1科目選択
	数学(選)	『数学Ⅰ,数学A』『数学Ⅰ』 『数学Ⅱ,数学B,数学C』		から1科目選択
	理科(選)	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』(※3) 『物理』『化学』『生物』『地学』		から1科目選択
情報(選)	『情報Ⅰ』 旧教育課程履修者は,新教育課程による出題科目と,旧教育課程による出題科目を組み合わせた以下の2科目から1科目選択すること。 『情報Ⅰ』『旧情報』			
個別学力検査等	その他	実技検査〔鉛筆写生〕〔平面表現〕〔立体表現〕	<p>○1次:個別学力検査等の成績により合否を判定する。</p> <p>○2次:2次個別学力検査等までの成績に,大学入学共通テストの成績と出願書類(調査書等)の審査を加え,総合的に判定し,合否を決定する。</p>	

【その他の選抜方法】 帰国生徒選抜・私費外国人留学生入試・追加合格

美術学部 デザイン科 (定員 45名)

	教科	科目	配点等	
大学入学共通テスト (4教科4科目)	国語(必)	『国語』	<p>○教科名の(必)は必須,(選)は選択教科・科目。</p> <p>○志願者は,必須教科・科目の他に,選択科目・教科から1科目選択し,合計4教科4科目を受験すること。</p> <p>○指定した選択教科・科目数を超過して受験した場合は,いずれか得点の高い1教科1科目を評価する。</p> <p>ただし,地理歴史及び公民並びに理科において,2科目受験した場合は,第1解答科目の成績を評価の対象とする。</p> <p>○地理歴史,公民,数学,理科の得点は,国語,外国語と同一の200点満点として換算する。なお,情報のみ換算せず100点満点とし,合計700点とする。</p> <p>(※1)外国語のうち,『英語』を選択した場合は,リーディングの他にリスニングを課し,それを合せて『英語』の評価とする。なお,リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計点数を,160点:40点に換算したものを『英語』の評価とする。</p> <p>(※2)『地理総合/歴史総合/公共』は,「地理総合」「歴史総合」「公共」いずれか,必ず2つの出題範囲を選択して解答する。</p> <p>(※3)『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は,「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」いずれか必ず2つの出題範囲を選択して解答する。令和7年度共通テストから「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」は,『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』として1出題科目として扱う。「物理基礎」などは1出題科目の中の1出題範囲として扱う。</p>	
	外国語(必)	『英語(リスニングを含む)』(※1) 『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』		から1科目選択
	情報(必)	『情報Ⅰ』 旧教育課程履修者は,新教育課程による出題科目と,旧教育課程による出題科目を組み合わせた以下の2科目から1科目選択すること。 『情報Ⅰ』『旧情報』		
	地理歴史(選) 公民(選)	『地理総合,地理探究』『歴史総合,日本史探究』 『歴史総合,世界史探究』 『地理総合/歴史総合/公共』(※2) 『公共,倫理』『公共,政治・経済』 旧教育課程履修者は,次のア,イのいずれかを選択し,解答する。 ア新教育課程による出題科目の6科目(上記)のうちから1科目を選択する。 イ旧教育課程による出題科目の10科目(以下)のうちから1科目を選択する。 『旧世界史A』『旧世界史B』『旧日本史A』『旧日本史B』 『旧地理A』『旧地理B』『旧現代社会』『旧倫理』 『旧政治・経済』『旧倫理,旧政治・経済』 注:新教育課程による出題科目と,旧教育課程による出題科目を組み合わせて選択することはできません。		から1科目選択
数学(選)	『数学Ⅰ,数学A』『数学Ⅰ』 『数学Ⅱ,数学B,数学C』 旧教育課程履修者は,以下のようにパターン①または②により選択ができます。 ●新教育課程による出題科目と,旧教育課程による出題科目を組み合わせた以下の4科目から1科目選択するパターン① 『数学Ⅰ,数学A』『数学Ⅰ』 『旧数学Ⅰ』『旧数学Ⅰ・旧数学A』 ●新教育課程による出題科目と,旧教育課程による出題科目を組み合わせた以下の5科目から1科目選択するパターン② 『数学Ⅱ,数学B,数学C』 『旧数学Ⅱ』『旧数学Ⅱ・旧数学B』 『旧簿記・会計』『旧情報関係基礎』	から1科目選択		
理科(選)	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』(※3) 『物理』『化学』『生物』『地学』	から1科目選択		
個別学力検査等	その他	実技検査〔鉛筆写生〕〔デザインⅠ(色彩)〕〔デザインⅡ(形体)〕 ※〔鉛筆写生〕について,石膏像デッサン又は構成デッサンのいずれかを出願時に志願者が選択すること。	<p>○1次:個別学力検査等の成績により合否を判定する。</p> <p>○2次:2次個別学力検査等までの成績に,大学入学共通テストの成績と出願書類(調査書等)の審査を加え,総合的に判定し,合否を決定する。</p>	

【その他の選抜方法】 帰国生徒選抜・私費外国人留学生入試・追加合格

美術学部 建築科 (定員 15名)

	教科	科目	配点等
大学入学共通テスト (5教科6科目)	国語 (必)	『国語』	○教科名の(必)は必須,(選)は選択教科・科目。
	外国語 (必)	『英語(リスニングを含む)』(※1) 『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』 } から1科目選択	○志願者は,必須教科・科目の合計5教科6科目を受験すること。
	地理歴史 (必)	『地理総合,地理探究』『歴史総合,日本史探究』 『歴史総合,世界史探究』 『地理総合/歴史総合/公共』(※2) } から1科目選択	○地理歴史及びに理科において, 2科目受験した場合は, 第1解答科目の成績を評価の対象とする。
	数学 (必)	『数学Ⅰ,数学A』 『数学Ⅱ,数学B,数学C』 旧教育課程履修者は,次のア,イのいずれかを選択し,解答する。 ア 新教育課程による出題科目の4科目(上記)のうちから1科目を選択する。 イ 旧教育課程による出題科目の6科目(以下)のうちから1科目を選択する。 『旧世界史A』『旧世界史B』 『旧日本史A』『旧日本史B』 『旧地理A』『旧地理B』 注:新教育課程による出題科目と,旧教育課程による出題科目を組み合わせることはできません。	○合計800点とする。 (国語200点/外国語200点/地理歴史100点/数学200点/理科100点)
	理科 (必)	『物理』『化学』 『生物』『地学』 } から1科目選択	(※1)外国語のうち,『英語』を選択した場合は, リーディングの他にリスニングを課し, それを合せて『英語』の評価とする。 なお,リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計点数を,160点:40点に換算したものを『英語』の評価とする。 (※2)『地理総合/歴史総合/公共』は, 「地理総合」「歴史総合」「公共」いずれか,必ず2つの出題範囲を選択して解答する。
個別学力検査等	その他	実技検査〔空間構成〕〔総合表現〕	個別学力検査等の成績に,大学入学共通テストの成績と出願書類(調査書等)の審査を加え,総合的に判定し,合否を決定する。 一次合格者選抜は行わない。

【その他の選抜方法】 帰国生徒選抜・私費外国人留学生入試・追加合格

美術学部 先端芸術表現科 (定員 24名)

	教科	科目	配点等	
大学入学共通テスト (3教科3科目)	国語(必)	『国語』	<p>○教科名の(必)は必須,(選)は選択教科・科目。</p> <p>○志願者は,必須教科・科目の他に,選択科目・教科から1科目選択し,合計3教科3科目を受験すること。</p> <p>○指定した選択教科・科目数を超過して受験した場合は,いずれか得点の高い1教科1科目を評価する。</p> <p>ただし,地理歴史及び公民並びに理科において,2科目受験した場合は,第1解答科目の成績を評価の対象とする。</p> <p>○地理歴史,公民,数学,理科,情報の得点は,国語,外国語と同一の200点満点として換算し,合計600点とする。</p> <p>(※1)外国語のうち,『英語』を選択した場合は,リーディングの他にリスニングを課し,それを合わせて『英語』の評価とする。</p> <p>なお,リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計点数を,160点:40点に換算したものを『英語』の評価とする。</p> <p>(※2)『地理総合/歴史総合/公共』は,「地理総合」「歴史総合」「公共」いずれか,必ず2つの出題範囲を選択して解答する。</p> <p>(※3)『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は,「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」いずれか必ず2つの出題範囲を選択して解答する。令和7年度共通テストから「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」は,『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』として1出題科目として扱う。「物理基礎」などは1出題科目の中の1出題範囲として扱う。</p>	
	外国語(必)	『英語(リスニングを含む)』(※1) 『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』		から1科目選択
	地理歴史(選) 公民(選)	『地理総合,地理探究』『歴史総合,日本史探究』『歴史総合,世界史探究』 『地理総合/歴史総合/公共』(※2) 『公共,倫理』『公共,政治・経済』		から1科目選択
	数学(選)	『数学Ⅰ,数学A』『数学Ⅰ』 『数学Ⅱ,数学B,数学C』		から1科目選択
	理科(選)	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』(※3) 『物理』『化学』『生物』『地学』		から1科目選択
情報(選)	『情報Ⅰ』 旧教育課程履修者は,新教育課程による出題科目と,旧教育課程による出題科目を組み合わせ以下の2科目から1科目選択すること。 『情報Ⅰ』『旧情報』			
個別学力検査等	その他 実技検査〔素描〕,小論文 ※1次は,実技検査〔素描〕又は小論文を出願時に志願者が選択すること。 〔総合実技〕 個人資料ファイル ※個人資料ファイル(志願者の活動内容をまとめたもの)を提出すること。		<p>○1次:個別学力検査等の成績に,大学入学共通テストの成績と出願書類(調査書等)の審査を加え,総合的に判定し,可否を決定する。</p> <p>○2次:2次個別学力検査等までの成績に,大学入学共通テストの成績と出願書類(調査書等)の審査を加え,総合的に判定し,可否を決定する。</p>	

【その他の選抜方法】 帰国生徒選抜・私費外国人留学生入試・追加合格

美術学部 芸術学科 (定員 20名)

	教科	科目	配点等	
大学入学共通テスト (3教科3科目)	外国語 (必)	『英語(リスニングを含む)』(※1) 『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』 } から1科目選択	○教科名の(必)は必須,(選)は選択教科・科目。 ○志願者は,必須教科・科目の他に,選択科目・教科から2科目選択し,合計3教科3科目を受験すること。 ○指定した選択教科・科目数を超過して受験した場合は,いずれか得点の高い2教科2科目を評価する。 ただし,地理歴史及び理科において,2科目受験した場合は,第1解答科目の成績を評価の対象とする。 ○地理歴史,数学,理科,情報の得点は,国語,外国語と同一の200点満点として換算し,合計600点とする。 (※1)外国語のうち,『英語』を選択した場合は,リーディングの他にリスニングを課し,それを合せて『英語』の評価とする。 なお,リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計点数を,160点:40点に換算したものを『英語』の評価とする。 (※2)『地理総合/歴史総合/公共』は,「地理総合」「歴史総合」「公共」いずれか,必ず2つの出題範囲を選択して解答する。 (※3)『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は,「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」いずれか必ず2つの出題範囲を選択して解答する。令和7年度共通テストから「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」は,『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』として1出題科目として扱う。「物理基礎」などは1出題科目の中の1出題範囲として扱う。	
	国語(選)	『国語』		
	地理歴史 (選)	『地理総合,地理探究』『歴史総合,日本史探究』 『歴史総合,世界史探究』 } から 『地理総合/歴史総合/公共』(※2) } 1科目選択 旧教育課程履修者は,次のア,イのいずれかを選択し,解答する。 ア新教育課程による出題科目の4科目(上記)のうちから1科目を選択する。 イ旧教育課程による出題科目の6科目(以下)のうちから1科目を選択する。 『旧世界史A』『旧世界史B』 『旧日本史A』『旧日本史B』 『旧地理A』『旧地理B』 注:新教育課程による出題科目と,旧教育課程による出題科目を組み合わせることはできません。		
	数学(選)	『数学I,数学A』『数学I』 『数学II,数学B,数学C』 } から1科目選択 旧教育課程履修者は,以下のようにパターン①または②により選択ができます。 ●新教育課程による出題科目と,旧教育課程による出題科目を組み合わせた以下の4科目から1科目を選択するパターン① 『数学I,数学A』『数学I』 『旧数学I』『旧数学I・旧数学A』 ●新教育課程による出題科目と,旧教育課程による出題科目を組み合わせた以下の5科目から1科目を選択するパターン② 『数学II,数学B,数学C』 『旧数学II』『旧数学II・旧数学B』 『旧簿記・会計』『旧情報関係基礎』		から 2教科 2科目 選択
	理科(選)	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』(※3) } から 『物理』『化学』『生物』『地学』 } 1科目選択		
情報(選)	『情報I』 旧教育課程履修者は,新教育課程による出題科目と, 旧教育課程による出題科目を組み合わせた以下の 2科目から1科目を選択すること。 『情報I』『旧情報』			
個別学力検査等	地理歴史	世界史探究,日本史探究から1科目を選択	個別学力検査等の成績(600点)と,大学入学共通テストの成績(600点)の合計点1200点に,出願書類(調査書等)の審査を加え,総合的に判定し可否を決定する。合格者は,個別学力検査等の小論文と鉛筆素描の選択科目ごとに判定し,合格者数は原則として,小論文と鉛筆素描の受験者数に応じて比例配分する。1次合格者選抜は行わない。	
外国語	英語(英語コミュニケーションI・英語コミュニケーションII・英語コミュニケーションIII),ドイツ語,フランス語から1科目を選択			
その他	小論文,実技検査〔鉛筆素描(石膏像)〕から1 ※出願時に選択すること。			

【その他の選抜方法】私費外国人留学生入試・追加合格

[表 4]

2025年度東京藝術大学入学者選抜の実施教科・科目等について【音楽学部】

●音楽学部倍率（2024年度入学者選抜実績）

3.1倍

●学力検査等の区分・日程

前期日程のみ（〔表 2〕13頁 日程のとおり）

●2段階選抜はありません。

●旧教育課程履修者が選択できる科目

旧教育課程履修者（高等学校（中等教育学校の後期課程並びに特別支援学校の高等部を含む。）に令和4年4月に入学し、令和7年3月に卒業見込みの者以外の者）に対する令和7年度（2025年度）大学入学共通テストに関する経過措置を以下のとおりとします。旧教育課程履修者は、旧教育課程による出題科目（青字で示した旧教育課程経過措置科目）を選択することができます。新教育課程履修者が、旧教育課程による出題科目を選択解答することはできません。

音楽学部 作曲科（定員 15名）			
	教科	科目	配点等
大学入学共通テスト（2教科2科目）	国語（必）	『国語』	○教科名の（必）は必須，（選）は選択教科・科目。 ○志願者は、必須教科・科目の合計2教科2科目を受験すること。 ○指定した教科・科目の配点は、国語200点、外国語200点とし、合計400点とする。 （※1）「外国語」のうち「英語」を選択受験した場合は、リーディングの他にリスニングを課す。なお、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の得点を160点：40点に換算したものを「英語」の評価とする。
	外国語（必）	『英語（リスニングを含む）』（※1） 『ドイツ語』 『フランス語』 から1科目選択	
個別学力検査等	その他	実技検査 （専攻実技・聴音書き取り・楽典・新曲視唱・リズム課題・副科ピアノ・ピアノ新曲） 面接	大学入学共通テストの成績は、最終判定に用いる。 個別学力検査等の成績を重視する。

音楽学部 声楽科（定員 54名）			
	教科	科目	配点等
大学入学共通テスト（2教科2科目）	国語（必）	『国語』	○教科名の（必）は必須，（選）は選択教科・科目。 ○志願者は、必須教科・科目の合計2教科2科目を受験すること。 ○指定した教科・科目の配点は、国語200点、外国語200点とし、合計400点とする。 （※1）「外国語」のうち「英語」を選択受験した場合は、リーディングの他にリスニングを課す。なお、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の得点を160点：40点に換算したものを「英語」の評価とする。
	外国語（必）	『英語（リスニングを含む）』（※1） 『ドイツ語』 『フランス語』 から1科目選択	
個別学力検査等	その他	実技検査 （専攻実技＜新曲視唱・リズム課題・コールユーブンゲンを含む＞・聴音書き取り・楽典・副科ピアノ）	大学入学共通テストの成績は、最終判定に用いる。 個別学力検査等の成績を重視する。

【その他の選抜方法】外国教育課程出身者特別入試・私費外国人留学生入試・追加合格

音楽学部 器楽科 (定員 98名)

ピアノ・古楽

	教科	科目	配点等
大学入学共通テスト (2教科2科目)	国語(必)	『国語』	○教科名の(必)は必須,(選)は選択教科・科目。 ○志願者は,必須教科・科目の合計2教科2科目を受験すること。 ○指定した教科・科目の配点は,国語200点,外国語200点とし,合計400点とする。 (※1)「外国語」のうち「英語」を選択受験した場合は,リーディングの他にリスニングを課す。なお,リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の得点を160点:40点に換算したものを「英語」の評価とする。
	外国語(必)	『英語(リスニングを含む)』(※1) 『ドイツ語』 『フランス語』 から1科目選択	
個別学力検査等	その他	実技検査 (専攻実技・聴音書き取り・楽典・新曲視唱・リズム課題)	大学入学共通テストの成績は,最終判定に用いる。 個別学力検査等の成績を重視する。

オルガン・弦楽器・管打楽

	教科	科目	配点等
大学入学共通テスト (2教科2科目)	国語(必)	『国語』	○教科名の(必)は必須,(選)は選択教科・科目。 ○志願者は,必須の教科・科目の合計2教科2科目を受験すること。 ○指定した教科・科目の配点は,国語200点,外国語200点とし,合計400点とする。 (※1)「外国語」のうち「英語」を選択受験した場合は,リーディングの他にリスニングを課す。なお,リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の得点を160点:40点に換算したものを「英語」の評価とする。
	外国語(必)	『英語(リスニングを含む)』(※1) 『ドイツ語』 『フランス語』 から1科目選択	
個別学力検査等	その他	実技検査 (専攻実技・聴音書き取り・楽典・新曲視唱・リズム課題・副科ピアノ)	大学入学共通テストの成績は,最終判定に用いる。 個別学力検査等の成績を重視する。

【その他の選抜方法】SSP [飛び入学] (注1) 外国教育課程出身者特別入試・私費外国人留学生入試・追加合格

(注1) 音楽学部 SSP [飛び入学] 入学者選抜は,器楽科ピアノ専攻,弦楽専攻(ヴァイオリン・チェロ),管打楽専攻(フルート/オーボエ/クラリネット/ファゴット/サクソフォン/ホルン/トランペット/テナー・トロンボーン/バス・トロンボーン/ユーフォニアム/チューバ ※打楽器を除く)で実施する。

音楽学部 指揮科 (定員 2名)			
	教科	科目	配点等
大学入学共通テスト (2教科2科目)	国語(必)	『国語』	○教科名の(必)は必須,(選)は選択教科・科目。 ○志願者は、必須教科・科目の合計2教科2科目を受験すること。 ○指定した教科・科目の配点は、国語200点、外国語200点とし、合計400点とする。 (※1)「外国語」のうち「英語」を選択受験した場合は、リーディングの他にリスニングを課す。なお、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の得点を160点:40点に換算したものを「英語」の評価とする。
	外国語(必)	『英語(リスニングを含む)』(※1) 『ドイツ語』 『フランス語』 から1科目選択	
個別学力検査等	その他	実技検査 (専攻実技・楽典・副科ピアノ・和声)	大学入学共通テストの成績は、最終判定に用いる。 個別学力検査等の成績を重視する。

【その他の選抜方法】外国教育課程出身者特別入試・私費外国人留学生入試・追加合格

音楽学部 邦楽科 (定員 25名)			
	教科	科目	配点等
大学入学共通テスト (2教科2科目)	国語(必)	『国語』	○教科名の(必)は必須,(選)は選択教科・科目。 ○志願者は、必須教科・科目の合計2教科2科目を受験すること。 ○指定した教科・科目の配点は、国語200点、外国語200点とし、合計400点とする。 (※1)「外国語」のうち「英語」を選択受験した場合は、リーディングの他にリスニングを課す。なお、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の得点を160点:40点に換算したものを「英語」の評価とする。
	外国語(必)	『英語(リスニングを含む)』(※1) 『ドイツ語』 『フランス語』 から1科目選択	
個別学力検査等	その他	実技検査 (専攻実技・楽典) 面接	大学入学共通テストの成績は、最終判定に用いる。 個別学力検査等の成績を重視する。

【その他の選抜方法】外国教育課程出身者特別入試・私費外国人留学生入試・追加合格

音楽学部 楽理科 (定員 23名)

	教科	科目	配点等
大学入学共通テスト (3教科3科目)	国語(必)	『国語』	<p>○教科名の(必)は必須,(選)は選択教科・科目。</p> <p>○志願者は,必須教科・科目の他に,選択科目・教科から1科目選択し,合計3教科3科目を受験すること。</p> <p>○指定した選択教科・科目数を超過して受験した場合は,いずれか得点の高い1教科1科目を評価する。</p> <p>ただし,地理歴史及び公民並びに理科において,2科目受験した場合は,第1解答科目の成績を評価の対象とする。</p> <p>○指定した教科・科目の配点は「国語200点」,「外国語200点」,「地理歴史,公民,数学,理科,情報のうち1教科100点」とし,合計500点とする。</p> <p>(※1)外国語のうち,『英語』を選択した場合は,リーディングの他にリスニングを課し,それを合わせて『英語』の評価とする。</p> <p>なお,リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計点数を,160点:40点に換算したものを『英語』の評価とする。</p> <p>(※2)『地理総合/歴史総合/公共』は,「地理総合」「歴史総合」「公共」いずれか,必ず2つの出題範囲を選択して解答する。</p> <p>(※3)『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は,「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」いずれか必ず2つの出題範囲を選択して解答する。令和7年度共通テストから「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」は,『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』として1出題科目として扱う。「物理基礎」などは1出題科目の中の1出題範囲として扱う。</p>
	外国語(必)	『英語(リスニングを含む)』(※1) 『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』 } から1科目選択	
	地理歴史(選) 公民(選)	『地理総合,地理探究』『歴史総合,日本史探究』『歴史総合,世界史探究』 } から 『地理総合/歴史総合/公共』(※2) } 『公共,倫理』『公共,政治・経済』 } 1科目選択	
	<p>旧教育課程履修者は,次のア,イのいずれかを選択し,解答する。</p> <p>ア 新教育課程による出題科目の6科目(上記)のうちから1科目を選択する。</p> <p>イ 旧教育課程による出題科目の10科目(以下)のうちから1科目選択する。</p> <p>『旧世界史A』『旧世界史B』『旧日本史A』『旧日本史B』『旧地理A』『旧地理B』『旧現代社会』『旧倫理』『旧政治・経済』『旧倫理,旧政治・経済』</p> <p>注:新教育課程による出題科目と,旧教育課程による出題科目を組み合わせることはできません。</p>		
	数学(選)	『数学I,数学A』『数学I』 } から1科目選択 『数学II,数学B,数学C』 } <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>旧教育課程履修者は,以下のようにパターン①または②により選択ができます。</p> <p>●新教育課程による出題科目と,旧教育課程による出題科目を組み合わせる以下の4科目から1科目選択するパターン①</p> <p>『数学I,数学A』『数学I』 『旧数学I』『旧数学I・旧数学A』</p> <p>●新教育課程による出題科目と,旧教育課程による出題科目を組み合わせる以下の5科目から1科目選択するパターン②</p> <p>『数学II,数学B,数学C』 『旧数学II』『旧数学II・旧数学B』 『旧簿記・会計』『旧情報関係基礎』</p> </div>	
理科(選)	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』(※3) } から 『物理』『化学』『生物』『地学』 } 1科目選択		
情報(選)	『情報I』 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>旧教育課程履修者は,新教育課程による出題科目と,旧教育課程による出題科目を組み合わせる以下の2科目から1科目選択すること。</p> <p>『情報I』『旧情報』</p> </div>		
個別学力検査等	国語	国語(現代の国語・言語文化・古典探究)	<p>大学入学共通テストの成績は,1次・最終判定に用いる。</p> <p>大学入学共通テストの成績及び個別学力検査等の成績を総合して判定する。</p>
	外国語	英語(英語コミュニケーションI・英語コミュニケーションII・英語コミュニケーションIII),ドイツ語,フランス語から1科目を選択	
	その他	実技検査 (聴音書き取り・楽典・新曲視唱・リズム課題・副科ピアノ・和声) 小論文(口述試問を含む)	

【その他の選抜方法】 外国教育課程出身者特別入試・私費外国人留学生入試・追加合格

音楽学部 音楽環境創造科 (定員 20名)

	教科	科目	配点等	
大学入学共通テスト (3教科3科目)	国語(必)	『国語』	<p>○教科名の(必)は必須,(選)は選択教科・科目。</p> <p>○志願者は,必須教科・科目の他に,選択科目・教科から1科目選択し,合計3教科3科目を受験すること。</p> <p>○指定した選択教科・科目数を超過して受験した場合は,いずれか得点の高い1教科1科目を評価する。</p> <p>ただし,地理歴史及び公民並びに理科において,2科目受験した場合は,第1解答科目の成績を評価の対象とする。</p> <p>○指定した教科・科目の配点は「国語200点」,「外国語200点」,「地理歴史,公民,数学,理科,情報のうち1教科100点」とし,合計500点とする。</p> <p>(※1)外国語のうち,『英語』を選択した場合は,リーディングの他にリスニングを課し,それを含めて『英語』の評価とする。</p> <p>なお,リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計点数を,160点:40点に換算したものを『英語』の評価とする。</p> <p>(※2)『地理総合/歴史総合/公共』は,「地理総合」「歴史総合」「公共」いずれか,必ず2つの出題範囲を選択して解答する。</p> <p>(※3)『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は,「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」いずれか必ず2つの出題範囲を選択して解答する。令和7年度共通テストから「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」は,『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』として1出題科目として扱う。「物理基礎」などは1出題科目の中の1出題範囲として扱う。</p>	
	外国語(必)	『英語(リスニングを含む)』(※1) 『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』		から1科目選択
	地理歴史(選) 公民(選)	『地理総合,地理探究』『歴史総合,日本史探究』 『歴史総合,世界史探究』 『地理総合/歴史総合/公共』(※2) 『公共,倫理』『公共,政治・経済』		から 1科目選択
	<p>旧教育課程履修者は,次のア,イのいずれかを選択し,解答する。</p> <p>ア 新教育課程による出題科目の6科目(上記)のうちから1科目を選択する。</p> <p>イ 旧教育課程による出題科目の10科目(以下)のうちから1科目選択する。</p> <p>『旧世界史A』『旧世界史B』『旧日本史A』『旧日本史B』 『旧地理A』『旧地理B』『旧現代社会』『旧倫理』 『旧政治・経済』『旧倫理,旧政治・経済』</p> <p>注:新教育課程による出題科目と,旧教育課程による出題科目を組み合わせることはできません。</p>			
	数学(選)	『数学I,数学A』『数学I』 『数学II,数学B,数学C』		から1科目選択
	<p>旧教育課程履修者は,以下のようにパターン①または②により選択ができます。</p> <p>●新教育課程による出題科目と,旧教育課程による出題科目を組み合わせた以下の4科目から1科目選択するパターン①</p> <p>『数学I,数学A』『数学I』 『旧数学I』『旧数学I・旧数学A』</p> <p>●新教育課程による出題科目と,旧教育課程による出題科目を組み合わせた以下の5科目から1科目選択するパターン②</p> <p>『数学II,数学B,数学C』 『旧数学II』『旧数学II・旧数学B』 『旧簿記・会計』『旧情報関係基礎』</p>		から 1科目 選択	
理科(選)	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』(※3) 『物理』『化学』『生物』『地学』	から 1科目選択		
情報(選)	『情報I』 旧教育課程履修者は,新教育課程による出題科目と, 旧教育課程による出題科目を組み合わせた以下の 2科目から1科目選択すること。 『情報I』『旧情報』			
個別学力検査等	音楽	音楽(音楽I・II・III) ※高等学校で使用されている音楽の教科書「音楽I・II・III」程度を出題範囲とする。	○1次:個別学力検査等の成績(200点)に,大学入学共通テストの成績(500点)を加え,その合計点(700点満点)により合否を判定する。	
	その他	小論文 面接(表現を含む) 志望理由書 ※800字以内。所定の用紙に手書きで記入の上,出願時に提出する。	○2次:1次の成績(700点満点)に,2次の小論文(100点)および面接(200点)の成績を加え,その合計点(1000点満点)により合否を決定する。	

【その他の選抜方法】外国教育課程出身者特別入試・私費外国人留学生入試・追加合格

(特別選抜)

6. 私費外国人留学生入試

外国の国籍を有し、出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）において大学入学に支障のない在留資格を有する者又は取得見込みの者で、下記の出願資格のいずれかに該当する者。

【注1】日本の高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者及び2025年3月31日までに卒業見込みの者は、対象とならない。

【注2】大学入学共通テストは課さないが、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」を本学が定めた（下記『「日本留学試験」出題科目等について』を参照）とおりに受験しなければならない。美術学部及び音楽学部募集人員は入学定員内として若干名、本学が実施する個別試験及び提出された書類並びに「日本留学試験」の成績の各資料等を総合して判定する。

6-1, 出願資格

(1)	外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び 2025年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者 (注3-1～3-4)
(2)	外国の大学入学資格である国際バカロレア, アビトゥア, バカロレア, GCEAレベル, 国際Aレベル, 欧州バカロレアを保有する者 (注4-1)
(3)	国際的な評価団体 (WASC, CIS, ACSI, NEASC, Cognia) の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者 (注 4-2)

(注 3-1)

- ・12年未満の課程の場合は、さらに文部科学大臣が指定した準備教育課程(※1)又は研修施設の課程(※2)を修了する必要があります。(学校教育法施行規則第150条第1号, 昭和56年文部省告示第 153号第2号)

(※1) 文部科学大臣指定教育課程一覧

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/001.htm

(※2) 文部科学大臣指定研修施設課程一覧

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/002.htm

- ・「外国において、学校教育における12年の課程を修了した者」とは、「外国の正規の学校教育における12年目の課程を修了した者」という意味です。修了した課程が正規の学校教育であるか、何年目の課程であるかはそれぞれの国の大使館等にお問い合わせください。

(注 3-2)

- ・外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者で、2025年3月31日までに18歳に達する者が該当します。(12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣が指定した準備教育課程(※1)又は研修施設の課程(※2)を修了する必要があります。)(昭和56年文部省告示第153号第1号, 第2号)
- ・合格した学力認定試験は、当該国の検定(国が検定に準ずるものを含む。)であり、大韓民国の「高等学校卒業学力検定考査」、アメリカ合衆国の「GED test」等がこれに該当します。12年の課程修了相当の学力認定試験であるかどうかはそれぞれの国の大使館等にお問い合わせください。

(注 3-3)

ウクライナのポウナ・ザハリナ・セレドニャ・オスヴィタの課程など、外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者(その修了者が当該外国の正規の学校教育における11年以上の課程を修了したとされるものであること、その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り)で、文部科学大臣が別に指定する教育機関(※3)を修了した者又は 2025年3月31日までに修了見込みの者が該当します。(昭和56年文部省告示第153号第3号)

(※3) 文部科学大臣指定 高等学校に対応する外国の学校の課程一覧

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/1380756.htm

(注 3-4)

東京韓国学校中・高等部など、文部科学大臣が、我が国において外国の高等学校相当として指定した外国人学校を修了した者（※4）（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣が指定した準備教育課程（※1）又は研修施設の課程（※2）を修了する必要があります。）が該当します。（昭和56年文部省告示第153号第4号，第5号）

（※4）文部科学大臣が高等学校相当として指定した外国人学校一覧

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/003.htm

(注 4-1)

- ・スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格
- ・ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格
- ・フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格
- ・グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCE-Aレベル）又は、インターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（国際Aレベル）（いずれも3科目以上でE以上の評価を取得していること）
- ・欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格（欧州バカロレア）

のいずれかを取得した者及び2025年3月31日までに取得見込みの者で、2025年3月31日までに18歳に達する者が該当します。（昭和23年文部省告示第47号第20号～第23号）

(注 4-2)

文部科学大臣が指定する、国際的な評価団体（WASC, CIS, ACSI, NEASC, Cognia）（※5）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者、又は2025年3月31日までに修了見込みの者が該当します。（昭和23年文部省告示第47号第24号）

※CIS の旧名称である ECIS の認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了したものについても入学資格が認められます。

（※5）文部科学大臣が指定する国際的な評価団体

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/006.htm

6-2, 「日本留学試験」について

○美術学部（建築科，先端芸術表現科）

「日本語」，「数学」，「理科」又は「日本語」，「数学」，「総合科目」のいずれかを受験すること。

- ・数学の「コース1」と「コース2」の選択は、受験者本人が行うこと。
- ・「理科」の物理・化学・生物から2科目選択は、受験者本人が行うこと。

○音楽学部，美術学部（建築科，先端芸術表現科以外の学科）

「日本語」及び「総合科目」を受験すること。

○共通事項

1. 日本語科目以外において、日本語及び英語による出題については、いずれを受験してもよい。
2. 渡日前の入学許可は行わない。（外国において本学の入学者選抜は行わない。）
3. 2024年6月，11月に実施した日本留学試験のいずれかを提出すること。
科目ごとに違う回の成績を大学に提出することは出来ないので注意すること。

○2024年度「日本留学試験」については、下記まで問合せること。

独立行政法人日本学生支援機構 留学生事業部留学試験課

所在地 〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29

TEL 03-6407-7457

ホームページ <http://www.jasso.go.jp>

7. 帰国生徒選抜

美術学部絵画科油画専攻, 工芸科, デザイン科, 建築科, 先端芸術表現科において帰国生徒選抜を実施する。【〔表1〕 (その2) 3頁及び〔表5〕 30頁参照】

〔表5〕 2025年度東京藝術大学帰国生徒選抜

実施学部・学科名	美術学部 絵画科油画専攻, 工芸科, デザイン科, 建築科, 先端芸術表現科				
募集人員	若干名 (一般選抜の募集人員を含む【〔表1〕 (その2) 3頁参照】)				
出願要件	<p>日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で外国の学校教育を受けている者のうち、外国において最終の学年を含めて2年以上継続して教育を受けている者。</p> <p>※ただし、外国に設置された学校であっても日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校に在学し、教育を受けた期間は、外国において学校教育を受けた期間とはみなさない。</p> <p>(1) (地理的・場所的に) 外国において、学校教育における 12 年の課程 (日本における通常の課程による学校教育の期間を含む) を2023年4月1日から2025年3月31日までに卒業 (修了) した者及び卒業 (修了) 見込みの者。</p> <p>(2) (地理的・場所的に) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格及びフランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格、欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格のいずれかを、2023年又は2024年に取得した者で、2025年3月31日までに18歳に達する者。</p> <p>(3) (地理的・場所的に) 外国において、グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格 (GCE-Aレベル) 又は、インターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格 (国際Aレベル) (いずれも3科目以上でE以上の評価を取得していること) を2023年又は2024年に取得した者及び2025年3月31日までに取得見込みの者で、2025年3月31日までに18歳に達する者。</p> <p>(4) (地理的・場所的に) 外国において、国際的な評価団 (WASC, CIS, ACSI, NEASC, Cogna) ※から、教育活動等に係る認定を受けた教育施設の12年の課程を、2023年4月1日から2025年3月31日までに卒業 (修了) した者及び卒業 (修了) 見込みの者で、2025年3月31日までに18歳に達する者。</p> <p>※文部科学大臣が指定する国際的な評価団体 https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/006.htm ※CISの旧名称であるECISの認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了したものについても入学資格が認められます。</p>				
選抜方法等	大学入学共通テストを免除し、一般選抜志願者と同一の試験により選抜する。				
<table border="1"> <tr> <td>絵画科油画専攻 工芸科 デザイン科 建築科</td> <td>日本語による面接を課す。 ※志願者は志望理由書 (800字以内。所定の用紙に日本語、自署で記入のこと) を願書とともに提出しなければならない。</td> </tr> <tr> <td>先端芸術表現科</td> <td>第1次試験は、志願者が出願時に実技 (素描) 又は小論文のいずれかを選択する。志願者は個人資料ファイル等 (一般選抜志願者と同様のもの) を提出しなければならない。 [個人資料ファイル提出期間は、2025年2月中旬を予定。詳細は、11月末発行予定の美術学部学生募集要項を必ず確認すること。]</td> </tr> </table>	絵画科油画専攻 工芸科 デザイン科 建築科	日本語による面接を課す。 ※志願者は志望理由書 (800字以内。所定の用紙に日本語、自署で記入のこと) を願書とともに提出しなければならない。	先端芸術表現科	第1次試験は、志願者が出願時に実技 (素描) 又は小論文のいずれかを選択する。志願者は個人資料ファイル等 (一般選抜志願者と同様のもの) を提出しなければならない。 [個人資料ファイル提出期間は、2025年2月中旬を予定。詳細は、11月末発行予定の美術学部学生募集要項を必ず確認すること。]	
絵画科油画専攻 工芸科 デザイン科 建築科	日本語による面接を課す。 ※志願者は志望理由書 (800字以内。所定の用紙に日本語、自署で記入のこと) を願書とともに提出しなければならない。				
先端芸術表現科	第1次試験は、志願者が出願時に実技 (素描) 又は小論文のいずれかを選択する。志願者は個人資料ファイル等 (一般選抜志願者と同様のもの) を提出しなければならない。 [個人資料ファイル提出期間は、2025年2月中旬を予定。詳細は、11月末発行予定の美術学部学生募集要項を必ず確認すること。]				
出願期間	2024年12月24日 (火) ~ 2025年1月7日 (火)				
選抜期日	各学科、専攻の一般選抜志願者と同一期日とする。				
最終合格発表日	2025年3月14日 (金)				
その他	<ul style="list-style-type: none"> この選抜に関する学生募集要項は 2024年11月頃に本学入試情報サイトに掲載予定。 帰国生徒選抜への出願は、一つの学科 (専攻・選択科目) に限る。 本学における一般選抜との併用は認めない。 本学が実施する個別試験は日本語により行う。 本学における授業は、一部を除き日本語で行う。 				

8. 東京藝術大学音楽学部SSP (Special Soloist Program) [飛び入学] 入学者選抜

音楽学部器楽科において東京藝術大学音楽学部SSP (Special Soloist Program) [飛び入学] 入学者選抜を実施する。

【〔表6〕 32頁参照】

(1) 基本方針

飛び入学制度は、一人一人の能力・適性に応じた教育を進める観点から特定の分野で特に優れた資質を有する者に早期に大学入学の機会を与え、その才能の一層の伸長を図ろうとするものです。グローバル化の進展に伴い激化する国際競争の中で、新たなイノベーションを創出し、国際的に活躍できる人材を育成するため、本学部では特別カリキュラムと連動した飛び入学制度を実施します。

(2) 東京藝術大学音楽学部Special Soloist Program入学試験について

- ・ Special Soloist Program (SSP) 入学試験は、高校2年修了生に対する特別選抜入学試験です。
- ・ この入学試験に合格した学生に対しては、入学後、指導教員との相談のもと特別カリキュラムが組まれます。例えば、一般の学士課程のカリキュラム以上に、個人レッスン時間やソリストとして本学奏楽堂での演奏会の機会等が予定されています。
- ・ 入学金と1年次の授業料全額が免除されます。
- ・ 入学試験及び在学期間中の成績によっては、給付型奨学金が支給されることもあります。
- ・ 成績優秀者については、既定の単位数を取得することにより3年間で卒業することも可能です。

(3) 入学者選抜の実施方針

- ・ 提出書類（自己推薦書、推薦書、調査書等）、専攻実技試験、基礎能力検査及び面接により、多角的な視点から学生の資質・能力を評価し、総合的に可否を決定します。
- ・ 自己推薦書では、これまでの音楽活動における顕著な業績（国際コンクールにおける入賞歴等）などを高く評価します。
- ・ 推薦書及び調査書等では、早期に大学教育を受けるために必要な基礎学力などを評価します。

[表6]

2025年度東京藝術大学音楽学部SSP (Special Soloist Program) [飛び入学]

実施学部・学科等名	音楽学部器楽科ピアノ専攻，弦楽専攻（ヴァイオリン，チェロ）， 管打楽専攻（フルート，オーボエ，クラリネット，ファゴット，サクソフォーン， ホルン，トランペット，テナー・トロンボーン，バス・トロンボーン，ユーフォニアム， チューバ ※打楽器は除く）
募集人員	若干名
出願要件	学校教育法第90条第1項又は同条第2項の規定により大学入学資格を有する者 で，次の二つの要件を満たし，高等学校長等が責任をもって推薦するもの (1)2025年3月31日において年齢が満17歳以下の者(高等学校卒業程度認定試験 規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験合格 者は，満17歳の者) ※外国人留学生も出願することができる。 (2)専攻実技に関して優れた資質を有し，その深求を志す者で，国際的に著名 なコンクール等での入賞経験，又はそれと同等の能力を持つ者。
選抜方法等	第1次選考：書類審査 第2次選考：専攻実技試験，基礎能力検査，面接
出願期間	2024年11月1日（金）～2024年11月7日（木）〔必着〕 郵送による出願とし，上記の期間内必着とします。 ※入学願書を直接大学に持参したものは受理しないので注意してください。
選抜期日	第1次選考 2024年11月11日（月）に本人宛に合否通知を郵送します。 第2次選考 2024年11月23日（土） 「専攻実技試験」，「基礎能力検査」，「面接」
最終合格発表日	2024年12月13日（金） ※本人及び推薦書を作成した高等学校長等宛に合否通知を郵送します。
その他	この選抜に関する学生募集要項は，2024年7月中旬に本学ホームページで公表 しています。

9. 音楽学部入学者選抜試験における「英語の資格・検定試験の活用」と「外国教育課程出身者特別入試の実施」について

(1) 「英語の資格・検定試験の活用」について

音楽学部「作曲科・声楽科・器楽科・指揮科・邦楽科」入学者選抜（一般選抜）における大学入学共通テストの「英語」については、「民間英語資格・検定試験」のスコアが、次に掲げるいずれかの水準を超えている場合には、スコア等の提出を認め、大学入学共通テストにおける「英語」の成績を満点とみなして扱う。ただし、その場合であっても、大学入学共通テストにおける「外国語」は受験しなければならない。

対象となる「民間英語資格・検定試験」及び「スコア・等級」

- ・ 実用英語技能検定（英検） 準1級以上
- ・ IELTS (Academic Module) バンド5.5以上
- ・ TOEFL iBT 72点以上
- ・ Cambridge English (ケンブリッジ英語検定) FCE (160～179) 以上

※1: 対象となる「民間英語資格・検定試験」は、2023年2月以降に受験した試験に限る。ただし、「実用英語技能検定（英検）」については、二次試験を2023年2月以降に受験した試験とする。

※2: 対象は「民間英語資格・検定試験」の公式スコアとし、TOEFL ITP, TOEFL Junior Comprehensive, TOEFL PBTは対象としない。

(2) 「外国教育課程出身者特別入試の実施」について

音楽学部「全学科」において「外国教育課程出身者特別入試」を実施する。

1. 趣旨

近年、諸外国での教育制度や国際バカロレアのカリキュラムの下で学ぶ者の数は増加しており、これらを通じて多様な文化・言語に触れ、基礎的学力を身に付けた者に対して、本学の優れて高度な大学教育の機会を提供することは、その国際的な素養を大きく発展させる契機となるだけでなく、本学の教育環境の多様性を一層深め、国際舞台で活躍できる有為な人材を育成することが可能となるものと期待できる。

このため音楽学部全学科において、次のとおり外国教育課程出身者に対して特別選抜を実施する。

2. 入学者選抜における基本方針

外国教育課程出身者特別入試では、優れた音楽的能力のみならず、入学後の教養教育に十分に対応できる知識と、国際的な視野やコミュニケーション能力を備えていることを重視する。

- ・ 出願書類（志望理由書、成績証明書等）により、幅広い分野の基礎知識や能力、日本語及びその他言語のコミュニケーション能力などを評価する。
- ・ 実技検査では、音楽の基礎能力及び専攻実技に関する表現力などを評価する。
- ・ 面接では入学後、日本語で行われる授業内容を充分理解しうる日本語能力などを評価する。

3. 入学までに身に付けて欲しいこと

専攻実技に関する高度な技能と豊かな表現力、主体的に学ぶための知識や思考力、国際的な視野、日本語及びその他言語によるコミュニケーション能力を身に付けていることを望む。

〔表7〕

2025年度東京藝術大学音楽学部「外国教育課程出身者特別入試」概要

実施学部・学科名	音楽学部全学科
募集人数	若干名（一般選抜の募集人員を含む。）
出願要件	<p>日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、下記の出願資格のいずれかに該当する者。</p> <p>(1) (地理的・場所的に) 外国において、学校教育における12年の課程（日本における通常の過程による学校教育の期間を含む。）を2023年4月1日から2025年3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者で、外国において最終の学年を含めて2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けている者。ただし、外国に設置された学校であっても日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校に在学し、教育を受けた期間は、外国において学校教育を受けた期間とはみなさない。</p> <p>(2) 次の資格のいずれかを2023年又は2024年に取得した者で、2025年3月31日までに18歳に達する者。</p> <p>① スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 ※日本における認定校出身の有資格者及び資格取得見込み者を含む。</p> <p>② ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格</p> <p>③ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格</p> <p>④ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCE-Aレベル）又は、インターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（国際Aレベル）（いずれも3科目以上でE以上の評価を取得していること）</p> <p>⑤ 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格（欧州バカロレア）</p>
選抜方法等	<p>大学入学共通テストを免除し、出願書類及び本学が実施する一般選抜志願者と同一の個別試験により選抜する。また、全学科、日本語による面接を課す。</p> <p>※志願者（音楽環境創造科の志願者を除く）は志望理由書（800字以内。所定の用紙に日本語、手書きで記入のこと）を出願時に提出しなければならない。</p> <p>（音楽環境創造科志願者については、一般選抜志願者も含む志願者全員に提出を課している志望理由書を充てるため、それとは別で改めて志望理由書を提出する必要はない。）</p>
出願期間	2025年度音楽学部一般選抜と同一期間とする。
選抜期間	各学科の一般選抜志願者と同一期日とする。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・本学における一般選抜との併願は認めない。 ・本学が実施する個別試験は日本語により行う。 ・本学における授業は、一部分を除き日本語で行う。

10. 障害のある入学志願者の事前相談について

下表（学校教育法施行令第22条の3の規定に準拠）に該当する者は、受験及び修学の際に特別な措置を必要とすることがあるので、美術学部一般選抜及び音楽学部一般選抜・外国教育課程出身者特別入試の場合は2024年12月17日（火）、美術学部帰国生徒選抜の場合は2024年12月5日（木）、音楽学部SSP〔飛び入学〕入学者選抜の場合は2024年9月30日（月）までの間に、志望する学部と相談すること。

ただし、体幹及び両上下肢の機能障害が著しく、大学入学共通テストで「代筆解答」の措置を申請する志願者が本学に出願する場合は、大学入学共通テスト出願以前のできるだけ早い時期に、志望する学部と緊密に相談すること。

なお、出願締切以後の不慮の事故による負傷者等においても、下表に該当する場合は、速やかに出願した学部と相談すること。

区 分	障 害 の 程 度
視覚障害 （強度の弱視を 含む。）	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障害 （強度の難聴 を含む。）	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由	1. 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2. 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱 （身体虚弱を 含む。）	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2. 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの
そ の 他	上記の区分以外の者で特別措置を必要とする者

※1事前相談には、相当の日数を要する場合もあるので、十分注意すること。

※2高等学校を卒業した者は、学部との事前相談に際し、出身学校長等とも相談すること。

11. 個人情報の取扱いについて

個人情報の保護に関する法律（以下「個人情報保護法」という。）に基づき、本学が入学選抜を通じて取得した個人情報の利用については、入学選抜に係わる業務のほか、次のとおりです。

1. 利用目的について

- (1) 合格者の住所・氏名等の個人情報を入学手続に係わる業務で利用します。
- (2) 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学後の学籍管理等の修学に係わる業務並びに健康診断等の保健管理に係わる業務で利用します。
- (3) 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用します。
- (4) 入学選抜で取得した成績等の個人情報を1年次における入学料免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修学支援に係わる業務で利用します。
- (5) 入学選抜で取得した成績等の個人情報を個人が特定できない形で統計処理等の付随する業務及び入学案内業務並びに本学における入学選抜に関する調査研究で利用します。

2. 第三者への個人情報の提供について

本学が取得した個人情報は、「個人情報保護法」第69条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

ただし、次の場合必要最低限の情報を提供することがあります。

- (1) 上記1. (1)～(5)の個人情報を取扱う業務を、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者へ委託する場合
- (2) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、合格及び入学手続等に関する個人情報（氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限る）を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達する場合
- (3) 本人の利益となる次の学外関係者に情報提供する場合
 - ① 音楽教育振興会（音楽学部の教育研究、学生の課外活動などを支援するための学生の父母により組織される会）
 - ② 杜の会（美術学部同窓会）
 - ③ 同声会（音楽学部同窓会）
 - ④ キャンパス環境整備支援会
 - ⑤ 東京芸術大学生生活協同組合

12. 学部・学科の内容

本学の専門教育の特色は、美術学部においては主としてアトリエを中心とした制作活動に、音楽学部においては個人レッスンを中心とした個人指導によって学生の実技修練，創造性の開発を図ることにある。学部・学科及び専攻等は，次のとおりである。

美術学部

学 科	専 攻	主 な 専 門 科 目
絵 画 科	日 本 画	日本画実技制作，素描，古典模写（1～4年次） 版画，壁画実習（3年次）
	油 画	基礎実技課程（1～2年次），専門実技課程（3～4年次） （ドローイング，絵画，現代美術，版画，壁画，油画技法・材料）
彫 刻 科		素描，塑造，木彫，石彫，金属，テラコッタ，その他実材造形（1～4年次），古典研究（3年次），彫刻論（2・3年次）
工 芸 科		工芸基礎実技（1年次） 造形実習，実材実習，絵画実習，塑造実習 専門分野技法演習（2～4年次） 彫金，鍛金，鍍金，漆芸，陶芸，染織， 素材造形（木材・ガラス） 工芸総合演習（3年次）
デ ザ イ ン 科		基礎実技・デザイン実技・デザイン技法（1年次） デザイン実技・デザイン技法（2年次） デザイン実技・他にデザイン専門科目（1～4年次）
建 築 科		設計製図（1～4年次） 建築構法，CAD図法演習，構造計画，建築概論，日本・東洋建築 建築史，構造力学（1年次） 西洋建築史，建築材料，環境工学，構造材料演習，実測（2年 次） 建築設備，建築一般構造，建築計画，都市設計，近代建築 史， 建築施工，建築社会制度（3年次）
先 端 芸 術 表 現 科		インターメディアアート実技（1～4年次） インターメディアアート概論・演習（2～4年次） メディア概論，現代芸術概論（1～3年次）
芸 術 学 科		美学・日本美術史・東洋美術史・西洋美術史・工芸史の概説 （1～3年次） 基礎造形実技（油画・日本画・彫刻，1～2年次） 特殊講義・演習（1～4年次） 古美術研究（演習・現地研究のための旅行）（2年次） 卒業論文（4年次）

美術学部では必修科目として「古美術研究旅行」が指定されており，学科（専攻）によって実施年次は異なるが，学部生全員の参加が義務づけられている。この研究旅行は約2週間に亘り，本学部附属古美術研究施設（奈良市）を拠点に近畿地方の古美術を見学，鑑賞，研究するものである。新型コロナウイルス感染症の感染状況等の社会情勢によっては，研究旅行の実施形態を変更する可能性がある。

備考：詳細については，本学ウェブサイト（<https://www.geidai.ac.jp>）参照のこと。

音楽学部

学科	専攻 (声種・楽器等)	主な専門科目
作曲科	作曲 エクリチュール	作曲実技Ⅰ・Ⅱ，厳格対位法とフーガ，管弦楽法（実習），楽曲解析，作曲研究，学内演奏（４年次），ピアノ（１～２年次），ソルフェージュ，卒業作品
声楽科	ソプラノ アルト テノール バス	声楽実技（１～４年次），合唱（１～４年次），声楽アンサンブル（室内合唱）（３～４年次），学内演奏，オラトリオ，オペラ基礎，オペラ実習，声楽史，オペラ史，ピアノ，ソルフェージュ，和声，卒業演奏
器楽科	ピアノ オルガン 弦楽 管打楽 古楽 （バロックヴァイオリン リコーダー チェンバロ）	各専門楽器実技（１～４年次），学内演奏会（３～４年次），ソルフェージュ，西洋音楽史，和声（１～２年次），卒業演奏以上は各専攻共通，以下は各専攻により加わるもの （ピアノ）合奏（１～４年次），伴奏（１～２年次） （オルガン）通奏低音実習（１～２年次），オルガン概論（１年次） （弦楽）ピアノ（１年次），弦楽合奏（１年次），室内楽（１～４年次），オーケストラ（２～４年次） （管打楽）ピアノ（１年次），室内楽（１～４年次），吹奏楽，オーケストラ（２～４年次） （古楽）古楽アンサンブル（１～４年次），通奏低音実習（１年次）
指揮科		指揮実技，指揮理論（１～４年次），学内演奏（４年次），ピアノ（１～２年次），スコアリーダーイング，ソルフェージュ，弦管打楽器実技，和声（１～２年次），卒業演奏
邦楽科	三味線音楽 （長唄三味線 常磐津三味線 線清元三味線 長唄 常磐津 清元） 箏曲 （山田流 生田流 現代箏曲） 尺八 能楽 能楽囃子 邦楽囃子 （邦楽囃子 現代邦楽囃子 （打楽器・笛）） 日本舞踊 雅楽	各専攻実技 各専攻実技総合実習，学内演奏（４年次），各専攻関連実技，邦楽合奏研究，各専攻演奏論，邦楽実技論（１～２年次），ソルフェージュ，卒業演奏，研究旅行
楽理科		音楽学各分野の概説（西洋音楽史，日本音楽史，東洋音楽史音楽美学，音楽理論，音楽民族学），初級演習，ソルフェージュ，和声，副科実技，講義，演習，楽書講読（英，独，仏，羅，伊，露，日，中，韓），研究旅行，音楽学実習，卒業論文
音楽環境創造科		プロジェクト，音楽環境創造概論（音楽，音響，芸術と社会，芸術論），音楽理論演習，録音技法研究，音響心理研究法，芸術運営論，文化理論演習，舞台芸術論，卒業制作・研究

備考：詳細については，本学ウェブサイト (<https://www.geidai.ac.jp>) 参照のこと。

13. 本学のキャンパス

本学のキャンパスは、「上野校地」，「取手校地」，「横浜校地」及び「千住校地」があります。取手校地では、美術学部先端芸術表現科の2年次以降及び、工芸科素材造形分野に対して授業を行っています。千住校地では、音楽学部音楽環境創造科が卒業時まで授業を行います。その他はすべて上野校地で授業を行います。

上野校地

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

[交通機関]

JR 上野駅（公園口）または鶯谷駅下車 徒歩10分
東京メトロ 銀座線・日比谷線 上野駅下車 徒歩15分
東京メトロ 千代田線 根津駅下車 徒歩10分
京成電鉄 京成上野駅下車 徒歩15分



取手校地

〒302-0001 茨城県取手市小文間5000

[交通機関]

JR 常磐線 取手駅※東口から大利根交通バスで約15分
(約5.9km)
「東京藝術大学」下車すぐ
「東京芸大前」下車徒歩10分
※上野駅から約40分



千住校地

〒120-0034 東京都足立区千住1-25-1

[交通機関]

JR/東京メトロ 千代田線・日比谷線/
東武鉄道東武伊勢崎線/
首都圏新都市鉄道つくばエクスプレス 北千住駅
(西口) 下車 徒歩5分



本学敷地内は「全面禁煙」です。また、受動喫煙防止のため、本学の敷地外（周辺道路等）においても、周辺の迷惑となる喫煙を行わないようご配慮ください。健康増進法および自治体の条例等の遵守と皆様のご協力をお願いします。

14. 学生募集要項（一般選抜）について

学生募集要項については2017年度入試よりWeb掲載のみとなっています。

東京藝術大学入試情報サイト (<https://admissions.geidai.ac.jp/>) に掲載される学生募集要項を確認の上、インターネットより出願してください。

Web掲載時期

- ・美術学部学生募集要項 2024年11月下旬予定
- ・音楽学部学生募集要項 2024年12月上旬予定

個別試験の出願期間 2025年1月27日（月）～2月5日（水）

東京藝術大学への各種問合せについては、次により行ってください。

○入試案内 ホームページアドレス

<https://admissions.geidai.ac.jp/>

○入学者選抜等

- ・ 学生課入学試験係 050-5525-2075
- ・ 美術学部教務係 050-5525-2122
- ・ 音楽学部学生募集係 050-5525-2309

電話による問合せの場合は、

月曜日から金曜日（ただし、土曜・日曜・祝祭日、本学の夏季・冬季休業期間、年末年始は除く。） 9時00分～12時30分、13時30分～16時30分

※やむを得ない場合を除き志願者本人が行うこと。